

研究ノート

チャハ語の目的語標示に関する覚え書き*

原 将吾
(筑波大学)

s1630033@u.tsukuba.ac.jp

Abstract

This paper provides the result of the fieldwork on the Chaha (Gurage) language, which was carried out in September 2019. The purposes of this article are: 1) to test Hara (2017)'s observation on dependent-marking object marker *yä-*, 2) to suggest what controls the presence of head-marking object marker on verbs which agrees to its object in gender (and probably number), and 3) to make clear the condition in which the two markers indicating the direct object cooccur. From data provided, it can be concluded that 1) both definiteness and animacy of the object affect the presence/absence of *yä-*: it is more likely present in cases where the direct object is definite/animate than in cases where it is indefinite/inanimate, 2) the head-marking object marker indicates its object by itself when the object is definite, 3) the two markers indicating the direct object can cooccur, in principle, when the object noun is definite.

1 はじめに

本稿は筆者が 2019 年 9 月に行った調査の成果を報告するものである。筆者は当該期間にチャハ語 (Chaha) の目的語標識の出現について簡単な調査を行った。本稿では、この調査で得られたデータを提示しつつ、原 (2017) が示した従属部につく目的語標識 *yä-* についての観察の妥当性を検討する。加えて、原 (2017) が扱わなかった、(1) に見られるような、3 人称の人称代名詞接尾形と同形で、直接目的語の性 (や数) に応じて形が変化する主要部標示の目的語標識についてもその出現条件を明らかにし、チャハ語の DOM の実態を記述することを目指す。

- (1) xuta yä-dästa qät' är-ä-**n**-m banä¹
 3SGM.SBJ OM-PN kill.PF-3SGM.SBJ-**3SGM.OBJ**-PST AUX
 「彼は Desta を殺した」 (原 2017: 47)

2 先行研究

チャハ語はエチオピア・南部諸民族州のグラゲ・ゾーンで話される言語である²。この言語はアフロ・アジア語族セム語派の言語で、グラゲ諸語と呼ばれるグループに属する言語である。グラゲ諸語は大きく東グラゲグループ（横断南エチオピアセム語群）とグンナン・グラゲグループに分けられるが、詳細な分類については未だ議論の最中である（Meyer 2019: 227）。Meyer (2019) では、チャハ語は後者のグループの、中央西グラゲ方言連続体に分類されている。

上に述べたように、チャハ語には名詞句に付加して直接目的語を標示する接頭辞 *yä-* が存在する (2)。Leslau (1950: 17) によれば、この接頭辞は直接目的語が定の場合にのみ現れることができるが、必須の要素ではない。直接目的語が不定の場合には語順によって目的語であることが示され、この接頭辞は現れない。

- (2) a. gwānčä būqrä qät'äräm
 the.hyena a.mule has.killed
 “The hyena has killed the mule (or a mule)”
- b. gəyā yä-färäzāna (or färäzāna) nāk^wäsänəm
 he.dog my.horse he.bit.it
 “The dog bit my horse.” (Leslau 1950: 17)³

* 本研究は JSPS 特別研究員奨励費 JP19J10473 の助成を受けたものである。また調査にあたってはインフォーマントである HN 氏のほか、彼を紹介してくれたホテルスタッフ 2 名にも協力いただいた。彼らにも併せて感謝の意を表す。

本稿の転写には以下の記号を用いる。ä=[e], č=[tʃ], q=[k'], š=[ʃ], y=[j]。右肩の ^w はそれぞれ対応する子音の円唇化/口蓋化した音であることを示す。そのほかは IPA に従う。なお本稿での表記は現段階での音韻表記である。

グロスで用いる略号は以下の通り。3SGM/F=3 人称単数男性/女性、AUX=助動詞、DF=定、OBJ=目的語一致標識、OM=名詞に付与する目的語標識、PF=完了、PN=固有名詞、PST=過去、SBJ=主語一致標識。

¹ 転写は本稿の表記に合わせて変更している。またグロスも本稿で用いる方式に統一する。問題の標識について原 (2017) は -n- と分析を誤っているが、これは本稿で示すように -^wn- が正しい。また原 (2017) で h とした音は x と理解すべきものであるように思われるため、本稿ではこれを x とした (cf. Leslau 1997: 378, 381)。

² グラゲ諸語の分類やどの範囲を単一の言語とみなすべきかについては未だ結論が出ていない。本稿では分類の問題には立ち入らず、簡便のためにチャハ語という呼称を用いる。

³ Leslau (1950) では本稿における i の代わりに ə が用いられている。またチャハ語文には詳細なグロスが付加されておらず、逐語訳が提示されているのみであった。

原 (2017) はチャハ語に見られる直接目的語標識のうち、名詞に付加される接頭辞 *yä-* について、Leslau (1950) の説明を不十分として、直接目的語となる名詞句の定性と有生性の観点から以下のような記述が可能であることを指摘した。

- 1) 直接目的語標識 *yä-* は直接目的語の定性に応じて用いられ⁴、固有名詞や定の名詞句の場合には現れやすく、不定の場合には現れにくくなる。
- 2) 直接目的語の定性が同程度の場合でも、その有生性によって *yä-* の現れやすさは変化し、人間の場合には *yä-* が最も現れやすく、無生物に対しては用いられにくくなる。
- 3) 従って、*yä-* は直接目的語が人間を表す固有名詞であるときには高頻度で出現し、無生物で不定の場合にはほとんど出現しない。

しかし原 (2017) は同時に、直接目的語標識の出現が動詞ごとに揺れる点についても指摘している。加えてチャハ語の直接目的語を表す標識には、(3) に示すように、前述した従属部標示 *yä-* の他に、3人称の人称代名詞接尾形と同形で、直接目的語となる名詞と性（数については未確認）を一致させる主要部標示の標識がある (3ab)。また、これら2つの標識を共起させることもできる (3c)。更に(2)に見えるように、標識を全く用いないこともできる。

- (3) a. *missxuta*⁵ *näm^wädäčnim*
 miss-xuta *nämäd-äč-^wn-m*
 man-DF *love.PF-3SGF.SBJ-3SGM.OBJ-PST*
 「彼女はその男を愛した」⁶
- b. *gärädx^yita* *nämädänam*
 gäräd-x^yita *nämäd-ä-na-m*
 girl-DF *love.PF-3SGM.SBJ-3SGF.OBJ-PST*
 「彼はその女の子を愛した」

⁴ 原 (2017) では Aissen (2003) などに示される定性の階層(人稱代名詞>固有名詞>定の名詞句>不定特定の名詞句>不定不特定の名詞句, Aissen 2003: 473)について言及している(原 2017: 49)。

⁵ *xuta/ x^yita* は人稱代名詞独立形と同形で、名詞の後に付加されて定のマーカーとして機能するものである。なお、このマーカーの出現については任意である (cf. Leslau 1983: 11)。今回は目的語が定の場合のチャハ語文を尋ねた場合にはこれを付加してもらった。

⁶ *-^wn-* は非線形的な実現形を持つ。すなわち、*-n-* がグロスに示す位置に現れるとともに、それが付加される動詞の語幹に円唇化を許容する子音(唇音および軟口蓋音)が含まれる場合、最も右側にある (rightmost) それを円唇化するという現象が起きる。円唇化する子音が含まれない場合には *-n-* だけが現れ、円唇化は起こらない。

- c. yämissxuta dänäg^wänim
 yä-miss-xuta dänäg-ä-^wn-m
 OM-man-DF hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 「彼はその男を殴った」

そこで本稿では、原 (2017) の説明の妥当性を検討しながら、原 (2017) が指摘する動詞ごとの揺れや、そこでは扱われなかった主要部標示タイプの目的語標示を含めて、チャハ語の DOM の実態を記述することを目的とする。

3 調査について

今回の調査は 2019 年 9 月に行ったものである。調査地はエチオピア連邦民主共和国内、南部諸民族州グラゲ・ゾーンに属するエムデベル (Imdibir⁷) という町である。

調査協力者は調査時点で 70 歳前後の男性 HN 氏である。HN 氏はエムデベルの出身で、言語形成期を同町で過ごした。エムデベル高校を卒業後、デブレブルハン (Debre Birhan) で訓練を受けた後に旧ウェツレガ州 (現オロミア州) で教員を勤めた人物で、現在は教員を退職後、故郷のエムデベルに戻りホテルのスタッフとして勤務している。HN 氏はチャハ語を母語とし、アムハラ語、オロモ語、英語を流暢に話すことができる。また他のグラゲ諸語については聞けば分かるものがあるとのことであった。日常の言語使用は家庭内でアムハラ語とチャハ語を、職場では主にアムハラ語を用いている。

調査はまず調査項目となる英文を提示し、それに対応するチャハ語文を協力者に発話してもらい、それを記録するという形式で行った。さらに名詞に付加される目的語標示、動詞に付加される目的語標示のそれぞれについて、これを用いた場合/用いなかった場合に同じ英文に対応するチャハ語文として成立するか、あるいは成立しない場合にその文が別の意味を生じさせるかどうかを尋ね、その回答も記録した。なお、媒介言語は英語である。これは同様の現象を持つアムハラ語からの干渉を避けるためである。

4 データ

今回の調査では asädädä 「追う」、dänägä 「叩く」、gäč'ä 「ぶつける」、a:šä 「見る」、siyä 「買う」、asiyä 「売る」、nämädä 「愛する」、šä: 「探す」、näkämä 「見つける」、mänt'ä 「選ぶ」、č'o:rä 「担ぐ、背負う」、ink'yäfä 「抱く」の 12 の動

⁷ Leslau (1950: 11), Rose (2007: 403) をはじめ、Endeber のように最初の子音を m ではなく n としている資料が散見されるが、これは誤りである。

詞⁸について、直接目的語が人間・動物・無生物のいずれか、及びその指示物が未知のものか既知のものか（＝不定/定）を違えた最大 6 つの場合のチャハ語文を収集した。それぞれの場合について、理論上可能なチャハ語文には (4) に示す 4 つのパターンが存在するはずである。以下では、それぞれのパターンが各場合において、意図した通りのチャハ語文として成立するかどうかを提示する。意図した通りのチャハ語文として成立しない場合には文頭に # を付加した。また非文であるものには * を付加した。

- (4) a. 標識無し（以下「無」）
 b. 従属部標示のみ（以下「従」）
 c. 主要部標示のみ（以下「主」）
 d. 従属部標示と主要部標示が共起（以下「従・主」）

4.1 asädädä 「追う」

(5) “He chased the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. *missxuta asädädäm
 miss-xuta asädäd-ä-m
 man-DF chase.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yämmissxuta asädädäm
 yä-miss-xuta asädäd-ä-m
 OM-man-DF chase.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #missxuta asädädänim
 miss-xuta asädäd-ä-^wn-m
 man-DF chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss が主語という解釈になる。
- d. yämmissxuta asädädänim
 yä-miss-xuta asädäd-ä-^wn-m
 OM-man-DF chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

⁸ 動詞については原 (2017) 同様、人称代名詞接尾形を伴うことができ、直接目的語を取りうると考えられるものを選んだ。

(6) “He chased a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- | | | |
|----|---------|--------------------------------|
| a. | miss | asädädäm |
| | miss | asädäd-ä-m |
| | man | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | yämiss | asädädäm |
| | yä-miss | asädäd-ä-m |
| | OM-man | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| c. | *miss | asädädänim |
| | miss | asädäd-ä- ^w n-m |
| | man | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| d. | #yämiss | asädädänim |
| | yä-miss | asädäd-ä- ^w n-m |
| | OM-man | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
- miss は定という読みになる⁹。

(7) “He chased the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- | | | |
|----|--------------|--------------------------------|
| a. | *giyäxuta | asädädäm |
| | giyä-xuta | asädäd-ä-m |
| | dog-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | yägiyäxuta | asädädäm |
| | yä-giyä-xuta | asädäd-ä-m |
| | OM-dog-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| c. | giyäxuta | asädädänim |
| | giyä-xuta | asädäd-ä- ^w n-m |
| | dog-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
- giyä は主語という読みも目的語という読みも可能である。
- | | | |
|----|--------------|--------------------------------|
| d. | yägiyäxuta | asädädänim |
| | yä-giyä-xuta | asädäd-ä- ^w n-m |
| | OM-dog-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

⁹ チャハ語では定の標示は義務的ではない (cf. 注釈 4)。

(8) “He chased a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- | | | |
|----|---------------------|--------------------------------|
| a. | giyä | asädädäm |
| | giyä | asädäd-ä-m |
| | dog | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | yägiyä | asädädäm |
| | yä-giyä | asädäd-ä-m |
| | OM-dog | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| c. | #giyä | asädädänim |
| | giyä | asädäd-ä- ^w n-m |
| | dog | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| | → giyä は主語として解釈される。 | |
| d. | *yägiyä | asädädänim |
| | yä-giyä | asädäd-ä- ^w n-m |
| | OM-dog | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

(9) “He chased the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- | | | |
|----|----------------------------|--------------------------------|
| a. | mäkinaxuta | asädädäm |
| | mäkina-xuta | asädäd-ä-m |
| | car-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | *yämäkinaxuta | asädädäm |
| | yä-mäkina-xuta | asädäd-ä-m |
| | OM-car-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-PST |
| c. | #mäkinaxuta | asädädänim |
| | mäkina-xuta | asädäd-ä- ^w n-m |
| | car-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| | → mäkina(xuta)は主語として解釈される。 | |
| d. | yämäkinaxuta | asädädänim |
| | yä-mäkina-xuta | asädäd-ä- ^w n-m |
| | OM-car-DF | chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

(10) “He chased a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākina asädädäm
 mākina asädäd-ä-m
 car chase.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yämākina asädädäm
 yä-mākina asädäd-ä-m
 OM-car chase.PF-3SGM.SBJ-PST
 → mākina は定として解釈される。
- c. #mākina asädädänim
 mākina asädäd-ä-^wn-m
 car chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mākina が主語の解釈
- d. #yämākina asädädänim
 yä-mākina asädäd-ä-^wn-m
 OM-car chase.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mākina は定として解釈される。

(5)~(10) を整理すると表 1 のようになる。なお以降の表には提示した英文の意味を成さないものを * で示す。

表 1 : asädädä 「追う」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*	*	*				*	*
動物	*						*	*
無生物		*	*			*	*	*

4.2 dänägä 「叩く」

(11) “He hit the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. #missxuta dänägäm
 miss-xuta dänäg-ä-m
 man-DF hit.PF-3SGM.SBJ-PST
 → miss は主語という解釈になる。

- b. yämíssxuta dänägäm
 yä-míss-xuta dänäg-ä-m
 OM-man-DF hit.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #míssxuta dänäg^wänim
 míss-xuta dänäg-ä-^wn-m
 man-DF hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → míss は主語という解釈になる。
- d. yämíssxuta dänäg^wänim
 yä-míss-xuta dänäg-ä-^wn-m
 OM-man-DF hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(12) “He hit a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. míss dänägäm
 míss dänäg-ä-m
 man hit.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yämíss dänägäm
 yä-míss dänäg-ä-m
 OM-man hit.PF-3SGM.SBJ-PST
 → míss は定として解釈される。
- c. #míss dänäg^wänim
 míss dänäg-ä-^wn-m
 man hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → míss は主語という解釈になる。
- d. #yämíss dänäg^wänim
 yä-míss dänäg-ä-^wn-m
 OM-man hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → míss は定として解釈される。

(13) “He hit the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. *gíyāxuta dänägäm
 gíyā-xuta dänäg-ä-m
 dog-DF hit.PF-3SGM.SBJ-PST

- b. yägiyäxuta dänägäm
 yä-giyä-xuta dänäg-ä-m
 OM-dog-DF hit.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. giyäxuta dänäg^wänim
 giyä-xuta dänäg-ä-^wn-m
 dog-DF hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yägiyäxuta dänäg^wänim
 yä-giyä-xuta dänäg-ä-^wn-m
 OM-dog-DF hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(14) “He hit a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä dänägäm
 giyä dänäg-ä-m
 dog hit.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #giyä dänägäm
 yä-giyä dänäg-ä-m
 OM-dog hit.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyä は定として解釈される。
- c. #giyä dänäg^wänim
 giyä dänäg-ä-^wn-m
 dog hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → 犬は主語として解釈される。
- d. #giyä dänäg^wänim
 yä-giyä dänäg-ä-^wn-m
 OM-dog hit.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は定として解釈される。

表 2 : dänägä 「叩く」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*		*			*	*	*
動物	*					*	*	*

4.3 gäč'ä 「ぶつける」¹⁰

(15) “He crashed the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. #mäkinaxuta gäč'äm
mäkina-xuta gäč'-ä-m
car-DF crash.PF-3SGM.SBJ-PST
→ mäkina(xuta)を直接目的語として解釈することはできない。
- b. yämäkinaxuta gäč'äm
yä-mäkina-xuta gäč'-ä-m
OM-car-DF crash.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #mäkinaxuta g^wäč'änim
mäkina-xuta gäč'-ä-^wn-m
car-DF crash.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ mäkina(xuta)を直接目的語として解釈することはできない。
- d. yämäkinaxuta g^wäč'änim
yä-mäkina-xuta gäč'-ä-^wn-m
OM-car-DF crash.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(16) “He crashed a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mäkina gäč'äm
mäkina gäč'-ä-m
car crash.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yämäkina gäč'äm
yä-mäkina gäč'-ä-m
OM-car crash.PF-3SGM.SBJ-PST
→ mäkina は既知のものを指す=定の読みになる。
- c. #mäkina g^wäč'änim
mäkina gäč'-ä-^wn-m
car crash.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ mäkina を直接目的語として解釈することはできない

¹⁰ 収集した例文を見る限り他動詞として振る舞っているように見えるため、本稿では他動詞と考える。

- d. #yämäkina g^wäč'änim
 yä-mäkina gäč'-ä-^wn-m
 OM-car crash.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mäkina は既知のものを指す=定の読みになる。

表 3 : gäč'ä 「ぶつける」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
無生物	*		*			*	*	*

4.4 a:šä 「見る」

(17) “He saw the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. #missxuta a:šäm
 miss-xuta a:š-ä-m
 man-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST
 → miss (xuta)は主語という解釈になる。
- b. yämissxuta a:šäm
 yä-miss-xuta a:š-ä-m
 OM-man-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. missxuta a:šänim
 miss-xuta a:š-ä-^wn-m
 man-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämissxuta a:šänim
 yä-miss-xuta a:š-ä-^wn-m
 OM-man-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(18) “He saw a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. miss a:šäm
 miss a:š-ä-m
 man see.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. yämiss a:šäm
 yä-miss a:š-ä-m
 OM-man see.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #miss a:šänim
 miss a:š-ä-^wn-m
 man see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は主語という解釈になる。

- d. #yämmiss a:šänim
 yä-miss a:š-ä-^wn-m
 OM-man see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は既知の男を指す

(19) “He saw the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyäxuta a:šäm
 giyä-xuta a:š-ä-m
 dog-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyä(xuta) は主語という解釈になる。

- b. yägiyäxuta a:šäm
 yä-giyä-xuta a:š-ä-m
 OM-dog-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #giyäxuta a:šänim
 giyä-xuta a:š-ä-^wn-m
 dog-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä(xuta) は主語という解釈になる。

- d. yägiyäxuta a:šänim
 yä-giyä-xuta a:š-ä-^wn-m
 OM-dog-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(20) “He saw a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä a:šäm
 giyä a:š-ä-m
 dog see.PF-3SGM.SBJ-PST

- b. yägiyä a:šäm
 yä-giyä a:š-ä-m
 OM-dog see.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #giyä a:šänim
 giyä a:š-ä-^wn-m
 dog see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä が主語の解釈になる。
- d. #yägiyä a:šänim
 yä-giyä a:š-ä-^wn-m
 OM-dog see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は既知のもの=定という読みしか出来ない。

(21) “He saw the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. mākinoxuta a:šäm
 mākina-xuta a:š-ä-m
 car-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. yämākinoxuta a:šäm
 yä-mākina-xuta a:š-ä-m
 OM-car-DF see.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. mākinoxuta a:šänim
 mākina-xuta a:š-ä-^wn-m
 car-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämākinoxuta a:šänim
 yä-mākina-xuta a:š-ä-^wn-m
 OM-car-DF see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(22) “He saw a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākina a:šäm
 mākina a:š-ä-m
 car see.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. yämākina a:šäm
 yä-mākina a:š-ä-m
 OM-car see.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. *mākina a:šänim
 mākina a:š-ä-^wn-m
 car see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

- d. #yämäkina a:šänim
 yä-mäkina a:š-ä-^wn-m
 OM-car see.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mäkina は既知の車を指す=定の読みになる。

表 4 : a:šä 「見る」 各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*						*	*
動物	*		*				*	*
無生物							*	*

4.5 siyä 「買う」 及び asiyä 「売る」¹¹

(23) “He bought the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyäxuta siyäm
 giyä-xuta siy-ä-m
 dog-DF buy.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyä(xuta) が直接目的語という解釈は不可能。
- b. *yägiyäxuta siyäm
 yä-giyä-xuta siy-ä-m
 OM-dog-DF buy.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. giyäxuta siyänim
 giyä-xuta siy-ä-^wn-m
 dog-DF buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yägiyäxuta siyänim
 yä-giyä-xuta siy-ä-^wn-m
 OM-dog-DF buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

¹¹ 人間を目的語に取る例文は得られなかった。現代では人間を売買することはなく、目的語の位置に miss を入れて作文したところ、(4) に示すいずれの場合にも、それが売買の対象として解釈されることはないということであった。

(24) “He bought a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä siyäm
giyä siy-ä-m
dog buy.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yägiyä siyäm
yā-giyä siy-ä-m
OM-dog buy.PF-3SGM.SBJ-PST
→ 「犬のために(何かを)買った」という解釈になる。¹²
- c. *giyä siyänim
giyä siy-ä-^wn-m
dog buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. #yägiyä siyänim
yā-giyä siy-ä-^wn-m
OM-dog buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ giyä は既知のもの=定という読みしか出来ない。

(25) “He bought the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. #mäkinaxuta siyäm
mäkina-xuta siy-ä-m
car-DF buy.PF-3SGM.SBJ-PST
→ mäkinaxuta は主語として解釈される。
- b. *yämäkinaxuta siyäm
yā-mäkina-xuta siy-ä-m
OM-car-DF buy.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. mäkinaxuta siyänim
mäkina-xuta siy-ä-^wn-m
car-DF buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämäkinaxuta siyänim
yā-mäkina-xuta siy-ä-^wn-m
OM-car-DF buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

¹² 名詞に付加される yä- は与格や属格のマーカースとして機能する (cf. Leslau 1950: 17)。

(26) “He bought a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- | | | |
|----|-----------|------------------------------|
| a. | mäkina | siyäm |
| | mäkina | siy-ä-m |
| | car | buy.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | #yämäkina | siyäm |
| | yä-mäkina | siy-ä-m |
| | OM-car | buy.PF-3SGM.SBJ-PST |
| | | → 「車のために(何かを)買った」という解釈になる。 |
| c. | *mäkina | siyänim |
| | mäkina | siy-ä- ^w n-m |
| | car | buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| d. | *yämäkina | siyänim |
| | yä-mäkina | siy-ä- ^w n-m |
| | OM-car | buy.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

(27) “He sold the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- | | | |
|----|--------------|-------------------------------|
| a. | *giyäxuta | asiyäm |
| | giyä-xuta | asiy-ä-m |
| | dog-DF | sell.PF-3SGM.SBJ-PST |
| b. | yägiyäxuta | asiyäm |
| | yä-giyä-xuta | asiy-ä-m |
| | OM-dog-DF | sell.PF-3SGM.SBJ-PST |
| c. | giyäxuta | asiyänim |
| | giyä-xuta | asiy-ä- ^w n-m |
| | dog-DF | sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| d. | yägiyäxuta | asiyänim |
| | yä-giyä-xuta | asiy-ä- ^w n-m |
| | OM-dog-DF | sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

(28) “He sold a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- | | | |
|----|------|----------------------|
| a. | giyä | asiyäm |
| | giyä | asiy-ä-m |
| | dog | sell.PF-3SGM.SBJ-PST |

- b. *yāgiyā asiyām
 yā-giyā asiy-ä-m
 OM-dog sell.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #giyā asiyänim
 giyā asiy-ä-^wn-m
 dog sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyā は既知のもの=定という読みしか出来ない。
- d. #yāgiyā asiyänim
 yā-giyā asiy-ä-^wn-m
 OM-dog sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyā は既知のもの=定という読みしか出来ない。

(29) “He sold the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. mākinoxuta asiyām
 mākina-xuta asiy-ä-m
 car-DF sell.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yāmākinoxuta asiyām
 yā-mākina-xuta asiy-ä-m
 OM-car-DF sell.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. mākinoxuta asiyänim
 mākina-xuta asiy-ä-^wn-m
 car-DF sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yāmākinoxuta asiyänim
 yā-mākina-xuta asiy-ä-^wn-m
 OM-car-DF sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(30) “He sold a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākina asiyām
 mākina asiy-ä-m
 car sell.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yāmākina asiyām
 yā-mākina asiy-ä-m
 OM-car sell.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #mäkina asiyänim
 mäkina asiy-ä-^wn-m
 car sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mäkina は既知のもの=定という読みしか出来ない。
- d. *yämäkina asiyänim
 yä-mäkina asiy-ä-^wn-m
 OM-car sell.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

表 5 : siyä 「買う」 各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
動物	*	*				*	*	*
無生物	*	*				*	*	*

表 6 : asiyä 「売る」 各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
動物	*					*	*	*
無生物		*				*	*	*

4.6 nāmädä 「愛する」

(31) “He loved the girl.” 直接目的語が人間・定の場合¹³

- a. gāräd^yita nāmädäm
 gāräd-x^yita nāmäd-ä-m
 girl-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. yägāräd^yita nāmädäm
 yä-gāräd-x^yita nāmäd-ä-m
 OM-girl-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST

¹³ 直接目的語 *gāräd* は女性名詞であり、そのため動詞上で主語を表示する要素と目的語を標示する要素の性が異なっている。ここで全ての例文が容認されるのは、この文法性の差によって主語と目的語の区別が容易であるからと考えられる。

- c. gāräd^yita nāmädānam
 gāräd-x^yita nāmäd-ä-na-m
 girl-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGF.OBJ-PST
- d. yägāräd^yita nāmädānam
 yä-gāräd-x^yita nāmäd-ä-na-m
 OM-girl-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGF.OBJ-PST

(32) “He loved a girl.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. gāräd nāmädām
 gāräd nāmäd-ä-m
 girl love.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yägāräd nāmädām
 yä-gāräd nāmäd-ä-m
 OM-girl love.PF-3SGM.SBJ-PST
 → gāräd は定という解釈になる。
- c. #gāräd nāmädānam
 gāräd nāmäd-ä-na-m
 girl love.PF-3SGM.SBJ-3SGF.OBJ-PST
 → gāräd は定という解釈になる。
- d. #yägāräd nāmädānam
 yä-gāräd nāmäd-ä-na-m
 OM-girl love.PF-3SGM.SBJ-3SGF.OBJ-PST
 → gāräd は定という解釈になる。

(33) “He loved the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyäxuta nāmädām
 giyä-xuta nāmäd-ä-m
 dog-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyä(xuta)が目的語という解釈は不可能。
- b. yägiyäxuta nāmädām
 yä-giyä-xuta nāmäd-ä-m
 OM-dog-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. *giyäxuta nām^wädänim
 giyä-xuta nāmäd-ä-^wn-m
 dog-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yägiyäxuta nām^wädänim
 yä-giyä-xuta nāmäd-ä-^wn-m
 OM-dog-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(34) “He loved a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä nāmädäm
 giyä nāmäd-ä-m
 dog love.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yägiyä nāmädäm
 yä-giyä nāmäd-ä-m
 OM-dog love.PF-3SGM.SBJ-PST
 → 犬という生き物一般を好む、という意味になる。
- c. #giyä nām^wädänim
 giyä nāmäd-ä-^wn-m
 dog love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä が主語の解釈になる。
- d. #yägiyä nām^wädänim
 yä-giyä nāmäd-ä-^wn-m
 OM-dog love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は既知のもの＝定という読みしか出来ない。

(35) “He loved the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. #mäkinaxuta nāmädäm
 mäkina-xuta nāmäd-ä-m
 car-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST
 → mäkina(xuta)が主語の解釈になる。
- b. yämäkinaxuta nāmädäm
 yä-mäkina-xuta nāmäd-ä-m
 OM-car-DF love.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. mākīnaxuta nāmādānim
 mākīna-xuta nām^wād-ä-^wn-m
 car-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yāmākīnaxuta nām^wādānim
 yä-mākīna-xuta nāmād-ä-^wn-m
 OM-car-DF love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(36) “He loved a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākīna nāmādām
 mākīna nāmād-ä-m
 car love.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yāmākīna nāmādām
 yä-mākīna nāmād-ä-m
 OM-car love.PF-3SGM.SBJ-PST
 → mākīna は既知の車を指す=定の読みになる。
- c. #mākīna nām^wādānim
 mākīna nāmād-ä-^wn-m
 car love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → 車が主語の解釈になる。
- d. #yāmākīna nām^wādānim
 yä-mākīna nāmād-ä-^wn-m
 OM-car love.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mākīna は既知の車を指す=定の読みになる。

表 7: nāmādä 「愛する」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間						*	*	*
動物	*		*				*	*
無生物	*					*	*	*

4.7 šä: 「探す」

(37) “He sought the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. #missxuta šä:m
 miss-xuta šä:-m
 man-DF seek.PF.3SGM.SBJ-PST
 → miss(xuta)は主語という解釈になる。
- b. yämissxuta šä:m
 yä-miss-xuta šä:-m
 OM-man-DF seek.PF.3SGM.SBJ-PST
- c. #missxuta šä:nim
 miss-xuta šä:-^wn-m
 man-DF seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss(xuta)は主語という解釈になる。
- d. yämissxuta šä:nim
 yä-miss-xuta šä:-^wn-m
 OM-man-DF seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(38) “He sought a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. miss šä:m
 miss šä:-m
 man seek.PF.3SGM.SBJ-PST
- b. #yämmiss šä:m
 yä-miss šä:-m
 OM-man seek.PF.3SGM.SBJ-PST
 → miss は既知の男を指す
- c. #miss šä:nim
 miss šä:-^wn-m
 man seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は主語という解釈になる。
- d. #yämmiss šä:nim
 yä-miss šä:-^wn-m
 OM-man seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は既知の男を指す

(39) “He sought the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyäxuta šä:m
 giyä-xuta šä:-m
 dog-DF seek.PF.3SGM.SBJ-PST
 → giyä(xuta) が目的語という解釈は不可能。
- b. yägiyäxuta šä:m
 yä-giyä-xuta šä:-m
 OM-dog-DF seek.PF.3SGM.SBJ-PST
- c. giyäxuta šä:nim
 giyä-xuta šä:-^wn-m
 dog-DF seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yägiyäxuta šä:nim
 yä-giyä-xuta šä:-^wn-m
 OM-dog-DF seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(40) “He sought a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä šä:m
 giyä šä:-m
 dog seek.PF.3SGM.SBJ-PST
- b. *yägiyä šä:m
 yä-giyä šä:-m
 OM-dog seek.PF.3SGM.SBJ-PST
- c. #giyä šä:nim
 giyä šä:-^wn-m
 dog seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä が主語の解釈になる。
- d. #yägiyä šä:nim
 yä-giyä šä:-^wn-m
 OM-dog seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は定という解釈しか出来ない。

(41) “He sought the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- | | | |
|----|----------------|-------------------------------|
| a. | *mäkinaxuta | šä:m |
| | mäkina-xuta | šä:-m |
| | car-DF | seek.PF.3SGM.SBJ-PST |
| b. | *yämäkinaxuta | šä:m |
| | yä-mäkina-xuta | šä:-m |
| | OM-car-DF | seek.PF.3SGM.SBJ-PST |
| c. | mäkinaxuta | šä:nim |
| | mäkina-xuta | šä:- ^w n-m |
| | car-DF | seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| d. | yämäkinaxuta | šä:nim |
| | yä-mäkina-xuta | šä:- ^w n-m |
| | OM-car-DF | seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |

(42) “He sought a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- | | | |
|----|-----------------------------|-------------------------------|
| a. | mäkina | šä:m |
| | mäkina | šä:-m |
| | car | seek.PF.3SGM.SBJ-PST |
| b. | *yämäkina | šä:m |
| | yä-mäkina | šä:-m |
| | OM-car | seek.PF.3SGM.SBJ-PST |
| c. | *mäkina | šä:nim |
| | mäkina | šä:- ^w n-m |
| | car | seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| | →mäkina は主語 →起こり得ない状況なので非文。 | |
| d. | #yämäkina | šä:nim |
| | yä-mäkina | šä:- ^w n-m |
| | OM-car | seek.PF.3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST |
| | → mäkina は定の読みになる。 | |

表 8 : šä: 「探す」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*		*			*	*	*
動物	*					*	*	*
無生物	*	*				*	*	*

4.8 näkämä 「見つける」

(43) “He found the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. *missxuta näkämäm
miss-xuta näkäm-ä-m
man-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yämmissxuta näkämäm
yä-miss-xuta näkäm-ä-m
OM-man-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. missxuta näkäm^wänim
miss-xuta näkäm-ä-^wn-m
man-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämmissxuta näkäm^wänim
yä-miss-xuta näkäm-ä-^wn-m
OM-man-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(44) “He found a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. miss näkämäm
miss näkäm-ä-m
man find.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yämmiss näkämäm
yä-miss näkäm-ä-m
OM-man find.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #miss nākām^wānim
 miss nākām-ä-^wn-m
 man find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は主語という解釈になる。

- d. #yāmiss nākām^wānim
 yā-miss nākām-ä-^wn-m
 OM-man find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → miss は定という解釈になる。

(45) “He found the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyāxuta nākāmām
 giyā-xuta nākām-ä-m
 dog-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyā(xuta)が目的語という解釈は不可能。

- b. #yāgiyāxuta nākāmām
 yā-giyā-xuta nākām-ä-m
 OM-dog-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
 → 「彼はその犬のために(何かを)見つけた」という意味。

- c. giyāxuta nākām^wānim
 giyā-xuta nākām-ä-^wn-m
 dog-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

- d. yāgiyāxuta nākām^wānim
 yā-giyā-xuta nākām-ä-^wn-m
 OM-dog-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(46) “He found a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyā nākāmām
 giyā nākām-ä-m
 dog find.PF-3SGM.SBJ-PST

- b. #yāgiyā nākāmām
 yā-giyā nākām-ä-m
 OM-dog find.PF-3SGM.SBJ-PST
 → 「彼はその犬のために(何かを)見つけた」という意味。

- c. #giyä nākām^wänim
 giyä nākām-ä-^wn-m
 dog find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は定という読みしか出来ない。

- d. #yägiyä nākām^wänim
 yä-giyä nākām-ä-^wn-m
 OM-dog find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は定という読みしか出来ない。

(47) “He found the car.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. mākinoxuta nākāmām
 mākina-xuta nākām-ä-m
 car-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yāmākinoxuta nākāmām
 yä-mākina-xuta nākām-ä-m
 OM-car-DF find.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. mākinoxuta nākām^wänim
 mākina-xuta nākām-ä-^wn-m
 car-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yāmākinoxuta nākām^wänim
 yä-mākina-xuta nākām-ä-^wn-m
 OM-car-DF find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(48) “He found a car.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākina nākāmām
 mākina nākām-ä-m
 car find.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yāmākina nākāmām
 yä-mākina nākām-ä-m
 OM-car find.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. #mäkina näkäm^wänim
 mäkina näkäm-ä-^wn-m
 car find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mäkina は定という解釈になる。
- d. *yämäkina näkäm^wänim
 yä-mäkina näkäm-ä-^wn-m
 OM-car find.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

表 9 : näkämä 「見つける」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*	*				*	*	*
動物	*	*				*	*	*
無生物		*				*	*	*

4.9 mänt'ä 「選ぶ」

(49) “He selected the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. #missxuta mänt'äm
 miss-xuta mänt'-ä-m
 man-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
 →miss(xuta) は主語という読みになる。
- b. yämissxuta mänt'äm
 yä-miss-xuta mänt'-ä-m
 OM-man-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. missxuta m^wänt'änim
 miss-xuta mänt'-ä-^wn-m
 man-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämissxuta m^wänt'änim
 yä-miss-xuta mänt'-ä-^wn-m
 OM-man-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(50) “He selected the man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. miss mänt’äm
miss mänt’-ä-m
man select.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yämmiss mänt’äm
yä-miss mänt’-ä-m
OM-man select.PF-3SGM.SBJ-PST
→miss は定という解釈になる。
- c. #miss m^wänt’änim
miss mänt’-ä-^wn-m
man select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ miss は主語という解釈になる。
- d. #yämmiss m^wänt’änim
yä-miss mänt’-ä-^wn-m
OM-man select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ miss は定という解釈になる。

(51) “He selected the man.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. #giyäxuta mänt’äm
giyä-xuta mänt’-ä-m
dog-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
→ giyä(xuta) が目的語という解釈は不可能。
- b. *yägiyäxuta mänt’äm
yä-giyä-xuta mänt’-ä-m
OM-dog-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #giyäxuta m^wänt’änim
giyä-xuta mänt’-ä-^wn-m
dog-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ giyä(xuta) が目的語という解釈は不可能。
- d. yägiyäxuta m^wänt’änim
yä-giyä-xuta mänt’-ä-^wn-m
OM-dog-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(52) “He selected the man.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä mänt’äm
giyä mänt’-ä-m
dog select.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yägiyä mänt’äm
yä-giyä mänt’-ä-m
OM-dog select.PF-3SGM.SBJ-PST
→ giyä は定という読みしか出来ない。
- c. *giyä m^wänt’änim
giyä mänt’-ä-^wn-m
dog select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. #yägiyä m^wänt’änim
yä-giyä mänt’-ä-^wn-m
OM-dog select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
→ giyä は定という読みしか出来ない。

(53) “He selected the man.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. *mäkinaxuta mänt’äm
mäkina-xuta mänt’-ä-m
car-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yämäkinaxuta mänt’äm
yä-mäkina-xuta mänt’-ä-m
OM-car-DF select.PF-3SGM.SBJ-PST
→ 「彼は車のために(何かを)選んだ」
- c. *mäkinaxuta m^wänt’änim
mäkina-xuta mänt’-ä-^wn-m
car-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yämäkinaxuta m^wänt’änim
yä-mäkina-xuta mänt’-ä-^wn-m
OM-car-DF select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(54) “He selected the man.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. mākina mǎnt’äm
 mākina mǎnt’-ä-m
 car select.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yämākina mǎnt’äm
 yä-mākina mǎnt’-ä-m
 OM-car select.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. *mākina m^wǎnt’änim
 mākina mǎnt’-ä-^wn-m
 car select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. #yämākina m^wǎnt’änim
 yä-mākina mǎnt’-ä-^wn-m
 OM-car select.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → mākina は定という読みになる。

表 10 : mǎnt’ä 「選ぶ」各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*					*	*	*
動物	*	*	*			*	*	*
無生物	*	*	*			*	*	*

4.10 č’o:rä 「担ぐ、背負う」

(55) “He carried the man.” 直接目的語が人間・定の場合

- a. #missxuta č’o:räm
 miss-xuta č’o:r-ä-m
 man-DF carry.PF-3SGM.SBJ-PST
 → miss(xuta)は主語という読みになる。
- b. *yämmissxuta č’o:räm
 yä-miss-xuta č’o:r-ä-m
 OM-man-DF carry.PF.3SGM.SBJ-PST

- c. #missxuta č'o:rānim
 miss-xuta č'o:r-ä-^wn-m
 man-DF carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → 「その男は病気である」の意
- d. yāmissxuta č'o:rānim
 yä-miss-xuta č'o:r-ä-^wn-m
 OM-man-DF carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(56) “He carried a man.” 直接目的語が人間・不定の場合

- a. #miss č'o:rām
 miss č'o:r-ä-m
 man carry.PF-3SGM.SBJ-PST
 → miss は主語という読みになる。
- b. *yāmiss č'o:rām
 yä-miss č'o:r-ä-m
 OM-man carry.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. #miss č'o:rānim
 miss č'o:r-ä-^wn-m
 man carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → 「男が病気である」の意
- d. yāmiss č'o:rānim
 yä-miss č'o:r-ä-^wn-m
 OM-man carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(57) “He carried the basket.” 直接目的語が無生物・定の場合

- a. k'ärč'atxuta č'o:rām
 k'ärč'at-xuta č'o:r-ä-m
 basket-DF carry.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yäk'ärč'atxuta č'o:rām
 yä-k'ärč'at-xuta č'o:r-ä-m
 OM-basket-DF carry.PF-3SGM.SBJ-PST

- c. k'ärč'atxuta č'o:rānim
 k'ärč'at-xuta č'o:r-ä-^wn-m
 basket-DF carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. *yäk'ärč'atxuta č'o:rānim
 yä-k'ärč'at-xuta č'o:r-ä-^wn-m
 OM-basket-DF carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(58) “He carried a basket.” 直接目的語が無生物・不定の場合

- a. k'ärč'at č'o:rām
 k'ärč'at č'o:r-ä-m
 basket carry.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. *yäk'ärč'at č'o:rām
 yä-k'ärč'at č'o:r-ä-m
 OM-basket carry.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. *k'ärč'at č'o:rānim
 k'ärč'at č'o:r-ä-^wn-m
 basket carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. *yäk'ärč'at č'o:rānim
 yä-k'ärč'at č'o:r-ä-^wn-m
 OM-basket carry.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

表 11 : č'o:rä 「担ぐ、背負う」各例文の容認

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	*	*	*		*	*	*	
無生物		*		*		*	*	*

4.11 ink'yäfä 「抱く」

(59) “He held the dog.” 直接目的語が動物・定の場合

- a. *giyäxuta ink'yäfäm
 giyä-xuta ink'yäf-ä-m
 dog-DF hold.PF-3SGM.SBJ-PST

- b. yägiyäxuta ìnk'yäfäm
 yä-giyä-xuta ìnk'yäf-ä-m
 OM-dog-DF hold.PF-3SGM.SBJ-PST
- c. *giyäxuta ìnk'yäf^wänim
 giyä-xuta ìnk'yäf-ä-^wn-m
 dog-DF hold.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. yägiyäxuta ìnk'yäf^wänim
 yä-giyä-xuta ìnk'yäf-ä-^wn-m
 OM-dog-DF hold.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST

(60) “He held a dog.” 直接目的語が動物・不定の場合

- a. giyä ìnk'yäfäm
 giyä ìnk'yäf-ä-m
 dog hold.PF-3SGM.SBJ-PST
- b. #yägiyä ìnk'yäfäm
 yä-giyä ìnk'yäf-ä-m
 OM-dog hold.PF-3SGM.SBJ-PST
 → giyä は定という解釈しか出来ない。
- c. *giyä ìnk'yäf^wänim
 giyä ìnk'yäf-ä-^wn-m
 dog hold.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
- d. #yägiyä ìnk'yäf^wänim
 yä-giyä ìnk'yäf-ä-^wn-m
 OM-dog hold.PF-3SGM.SBJ-3SGM.OBJ-PST
 → giyä は定という解釈しか出来ない。

表 12 : ìnk'yäfä 「抱く」 各例文の容認の可否

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
動物	*		*			*	*	*

5 まとめ

前節では今回の調査で得られたデータを提示した。これを総合すると表 13 のようになる。上段の数字は (4) に示した各パターンが容認された数を、下段は容認された割合をそれぞれ示す。

表 13: 定性・有生性と目的語標識の出現

	定				不定			
	無	従	主	従・主	無	従	主	従・主
人間	1/8	5/8	4/8	8/8	7/8	2/8	0/8	1/8
	13%	63%	50%	100%	88%	25%	0%	13%
動物	0/10	7/10	6/10	10/10	10/10	3/10	0/10	0/10
	0%	70%	60%	100%	100%	30%	0%	0%
無生物	5/10	3/10	7/10	9/10	10/10	1/10	0/10	0/10
	50%	30%	70%	90%	100%	10%	0%	0%

ここからは次のことが指摘できる。

1) 「直接目的語標識 *yä-* は直接目的語の定性に応じて用いられ、固有名詞や定の名詞句の場合には現れやすく、不定の場合には現れにくくなる」という原 (2017) の指摘は今回のデータについても当てはまる。すなわち、従属部標示の標識が現れる「従」および「従・主」の容認度はいずれも定の目的語において高くなる。

2) 「目的語の定性が同程度の場合でも、その有生性によって *yä-* の現れやすさは変化し、目的語が人間の場合には *yä-* が最も現れやすく、無生物に対しては用いられにくくなる」については、無生物と有生物 (人間+動物) の差ははっきり見て取れる一方で、人間と人間以外の動物との間にはそうとはっきり言える様子は見取れなかった。ただし今回の調査ではあくまでその言い方が可能かどうか、という点について訊いたに過ぎないため、テキスト等のデータを用いることで後者の違いについても明らかになる可能性はある。

3) 主要部標示の標識が単独で目的語を示すと解釈される「主」が容認されるのは定の名詞 (句) が直接目的語となる場合に限定される。他方で目的語の有生性については有生性の階層を逆転させた無生物>動物>人間の順で「主」の容認度が下がっている。この点については主要部標示タイプの標識が人称代名詞接尾形と同形である、ということが関与しているように思われる。すなわち「目的語名詞-動詞+目的語一致標識」という構造と「主語名詞-動詞+目的語人

称代名詞」という構造の2つの可能性があり、名詞が無生物の場合には前者での解釈も容認しやすくなる、ということである。

4) 直接目的語が主要部と従属部の双方に標示される「従・主」の場合は(56d)を例外としてすべて定である。このことから、2種類の標識が共起するためには(原則として)目的語が定であることが必要である、とすることができそうである。(56d)が容認される理由については、現時点ではよく分からない。

以上のようなことが今回の調査で得たデータから指摘できる。他方、直接目的語を標示する方法について本稿で未解決の問題として挙げられるのは次の3点である。a) 扱った動詞の数に限りがあることや有生性・定性¹⁴という変数について悉皆的に調査することができなかったことから、本稿での議論がどの程度一般化できるかという点に疑問が残る。b) 本調査では各例文が容認できるかという点について扱ったに過ぎないため、複数の方法が容認される場合の使い分けについては不明である。c) 動詞による揺れが動詞の支配する格の問題なのか、単に話者の判断が揺れただけなのか、あるいは他の要因に因るものか、検討できておらず明らかでない。今後チャハ語のDOMをより詳細に記述するためには、単にデータを拡大するだけでなく、テキスト資料の収集や語彙調査等を行う必要がある。

【参照文献】

- Aissen, Judith (2003) "Differential Object Marking: Iconicity vs. Economy." *Natural Language & Linguistic Theory* 21 (3): 435-483.
- 原将吾 (2017) 「チャハ語の Differential Object Marking に関する仮説」 *Studies in Ethiopian Languages* 6: 44-51.
- Leslau, Wolf (1950) "Chaha: An Outline of the Grammar." In: Wolf Leslau, *Ethiopic Documents: Gurage*, 12-32. New York: The Viking Fund Inc.
- Leslau, Wolf (1983) "Brief Outline of Čaha and Ennemor." In: Wolf Leslau, *Ethiopians Speak: Studies in Cultural Background Part V Chaha-Ennemor*, 7-22. Wiesbaden: Franz Steiner.
- Leslau, Wolf (1997) "Chaha (Gurage) Phonology." In: Alan S. Kaye (ed.) *Phonologies of Asia and Africa, Volume I*, 373-398. Winona Lake: Eisenbrauns.
- Meyer, Ronny (2019) "Gurage (Muher)." In: John Huehnergard and Na'ama Pat-El (eds.) *The Semitic Languages Second Edition*, 227-256. London and New York: Routledge.
- Rose, Sharon (2007) "Chaha (Gurage) Morphology." In: Alan S. Kaye (ed.) *Morphologies of Asia and Africa, Volume I*, 403-427. Winona Lake: Eisenbrauns.

¹⁴ Aissen (2003) の示す定性の階層には人称代名詞や固有名詞、さらに不定特定の名詞句も含まれているが、今回の調査では時間の都合上、これらについては扱わなかった。